

日本風力発電協会 新春賀詞交歓会 2015 中締めご挨拶

2015年1月21日

副代表理事 鈴木和夫

副代表理事の鈴木和夫と申します。主に系統連系問題を担当しております。

現在、我が国は、電力システム改革に着手し、①広域運用機関の設立運用、②電力小売りの自由化、③発送電分離に大きく舵をきる時代になって参りました。

我々風力発電関連団体としては、2012年のFIT、法アセス規制に引き続き、連系制約、FITの見直し等、厳しい状況は続きますが、国として、年末のCOP21に向け非化石燃料比率の2030年50%以上を目標にし、同時に、その再エネの中心になるであろう風力発電比率も発電電力量ベースで15%以上にするなど、意欲的な目標を立てて頂き、且つ中断の無い年次方針でクリアする必要があると考えます。是非、この実現に向けてご出席の皆様の更なるご努力、ご尽力をお願いします。

また、協会としても各種制度改革への提案等をさらに強化し、特に事故防止のための予防保全活動につながる定期点検制度化対応、今後の連系制約に関わる風力設備側での技術サポート、更にはエネルギーベストミックスにつながる準安定化電源運用のサポートを進めて参る所存でありますので、どうぞ引き続きお引き直し頂くようお願い申し上げます。

それではご出席の皆様には昨年1年間のご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、戦後70年の本年を電力システムの改編、地方創生を含む景気回復に合わせた風力導入促進の節目の年になるよう努力することをお約束し、ご出席の皆様の本年のご健勝とご活躍を祈念し一本締めで中締めにさせて頂きたいと思っております。

それでは、お手を拝借！いよーパン！有難うございました。

